

防災組織未加入マンションを把握

安否確認体制の
確立を！



防災アドバイザー制度の活用を

防災組織設立へ
共助・防災力UP！



地域の防災力 今こそ強化

防災リーダーの
育成と活動を
支援！



ペット防災の理解促進を

防災訓練を契機に
地域全体で
考えよう！



令和6年度 ひょうご防災リーダー養成講座



1月1日に多大な被害を出した「能登半島地震」の発生を皮切りに、4月3日に「台湾花蓮地震」、4月7日に「豊後水道地震」と立て続けに巨大地震が発生しています。

一方で地球温暖化の影響もあり、土砂災害・洪水などの豪雨災害や台風が毎年多発しています。

このような災害による被害を少しでも軽減するためには、県民一人一人が**自分たちの街は自分たちで守る**という地域での防災の取組を一層推進することが不可欠です。

兵庫県立広域防災センターでは、**地域防災の担い手となるリーダーの育成**を目的に、防災減災の最新の課題と教訓を学ぶ「令和6年度ひょうご防災リーダー養成講座」を9月から12月まで、計7日間開講します。

日程：
1回 9月7～8日（土・日）
2回 10月26～27日（土・日）
3回 11月9～10日（土・日）
4回 12月1日（日）

会場：兵庫県立広域防災センター
募集人員：130名（宿泊50名、日帰り80名）
募集期間：令和6年7月20日（土）午前10時～
定員に達し次第終了
料 金：受講料は無料、
食事と宿泊は有料（希望者のみ）

受講対象： 兵庫県在住・在勤・在学(中学生以上:中学生は保護者同伴の場合、申込可能)で、現在又は今後、自主防災組織で活躍され、自らの地域で積極的に地域防災の担い手として活動しようとされる方。
※過去に本講座を修了し、既に「ひょうご防災リーダー」の称号が授与された方は応募することができません。

修了要件：
○ 合計21時限を受講できる方（初日と最終日は必ず受講すること）
○ 11月10日までに履修確認レポートを提出できる方（後日配布）
○ 11月10日までに普通救命講習の修了証を提出できる方（有効期間は令和3年12月1日から令和6年12月1日まで、大人の心肺蘇生法及びAEDの使い方3時間コース）

修了すると：
○ 知事名の修了証と「ひょうご防災リーダー」の称号が授与され、地域防災の担い手として活動していただけます。
○ 日本防災士機構が認定する防災士の受験資格が付与されます。
○ 居住地（又は勤務地）の県民局、市町に修了者名簿を送付し、活動機会を提供します。

申込方法： インターネットにて、広域防災センターの「ひょうご防災リーダー講座」のページからお申込みください。

<お問い合わせ> 〒673-0516 三木市志染町御坂1-19 兵庫県立広域防災センター 防災教育担当
電話：0794-87-2920（代表） 0794-87-2928（防災教育）

※講師等の関係により日程等変更することがあります

《 カリキュラム 》

時限	① 09:30～10:00	② 10:20～11:40	③ 12:30～13:50	④ 14:10～15:30	15:50～17:00
1回目 9/7 (土)	開講式・オリエンテーション	「国難（パンデミック含む）と地域の災害に備える」 関西大学社会安全研究センター長・特別任命教授 人と防災未来センター長 河田 恵昭 氏	「地域の自主防災組織における47種類の災害対策業務とは？」 東京大学生産技術研究所准教授 沼田 宗純 氏	「豪雨災害に対する危機管理」 政策研究大学院大学教授 防災・危機管理コースディレクター 室田 哲男 氏	受講生の交流会
1回目 9/8 (日)	「災害情報が地域と人命を救うー現場で考えた防災」 国土舘大学名誉教授 元NHK解説委員 山崎 登 氏	「地域防災と災害ボランティアについて」 神戸学院大学教授 安富 信 氏	「過去の災禍に学ぶ大規模災害への備え～主として都市、産業、構造物の立場から～」 名古屋大学名誉教授 福和 伸夫 氏	「南海トラフ巨大地震と内陸直下型地震ー発生メカニズムと対策についてー」 関西大学社会安全学部教授 奥村 与志弘 氏	
2回目 10/26 (土)	「被災者の生活支援・災害時要援護者対策」 関西大学社会安全学部教授 山崎 栄一 氏	「防災・減災の取り組み」 京都大学名誉教授 林 春男 氏	「事業継続計画について」 インフォコム株式会社 サービスビジネス事業本部 デジタル・サステナビリティ事業部 危機管理主任コンサルタント 高橋 克彦 氏	「地区防災計画と実践活動」 関西大学社会安全学部教授 近藤 誠司 氏	
2回目 10/27 (日)	【ワークショップ】クロスロード・ゲーム 神戸常盤大学 室崎 友輔 氏 広域防災センター 職員 防災体験学習 広域防災センター 職員	【ワークショップ】クロスロード・ゲーム 神戸常盤大学 室崎 友輔 氏 広域防災センター 職員 防災体験学習 広域防災センター 職員	「地震・降雨に起因する地盤災害（地すべり、斜面崩壊、落石など）」 関西大学社会安全学部教授 小山 倫史 氏	「地図を活用した地域防災力向上対策について」 兵庫県立大学大学院教授 浦川 豪 氏	
3回目 11/9 (土)	「地域防災とその取組事例について」 兵庫県立大学環境人間学部教授 木村 玲玖 氏	【ワークショップ】マイ避難カード 兵庫県危機管理部 災害対策課 職員	「風水害の発生メカニズムとその対応」 神戸地方気象台 防災気象官	「過去の地震・津波・火災からの避難について学ぶ」 神戸大学名誉教授 北後 明彦 氏	
3回目 11/10 (日)	地域における災害時要援護者対策 県立兵庫大学教授 阪本 真由美 氏	【ワークショップ】「避難のあり方と避難行動ワークショップ（EVAG）（風水害版）いろいろな人の立場で考えよう、避難行動訓練EVAG」 国土防災技術(株) 技術本部 土佐 信一 氏、斎田 友理子 氏、横山 修 氏、山田知瑛里氏	「災害医療」 神戸学院大学現代社会学部教授 中田 敬司 氏		
4回目 12/1 (日)	「大規模災害時の複合災害における避難のあり方について（在宅避難含む）」 東京大学大学院教授 廣井 悠 氏	「東日本大震災からの復旧・復興の課題を将来取り得る災害に活かす」 京都大学防災研究所教授 牧 紀男 氏	「地域の防災リーダーに期待すること」 神戸大学名誉教授 室崎 益輝 氏	閉講式・防災士試験	



ホームページ



アクセス



研修宿泊施設



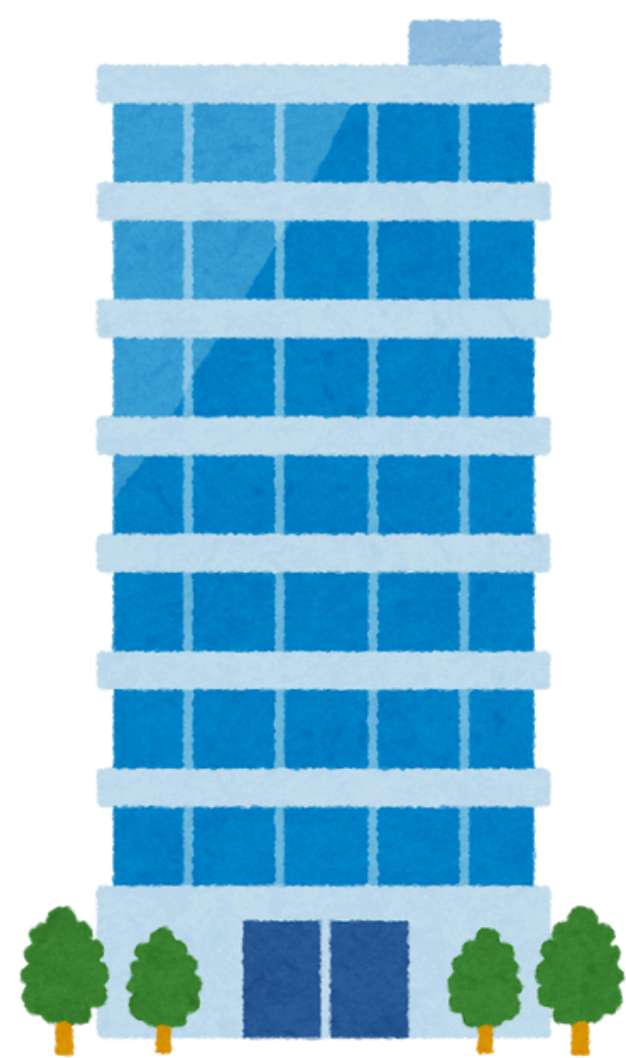
出典：兵庫県ホームページ

未来へ向けた選択！

旧三田図書館を建て直そう

区の土地をフル活用し

次世代施設を構築！



旧三田図書館の概要

・概要

住居表示	港区芝五丁目28番4号 商業地域、建ぺい率
用途地域等	80%、容積率500%1, 403.45m ²
敷地面積	4,321.24m ² 建築面積: 955.34m ²
建物延床面積	容積率充足率: 約60% 地下1階地上4階建
建物概要	鉄骨鉄筋コンクリート造、1982年竣工 (築42年)

・旧三田図書館案内図

